

編集後記

私の所属する大学の図書館では、毎年春になると、教員が新生生に対して「大学生になったら読んでおくべき基本図書」を推薦する企画が催されます。文学部・経済学部・法学部の先生方に交じり、ここ数年、理工学部からは私が図書推薦をしています。例えば、「フェルマーの最終定理」サイモン・シン著・青木薫訳（新潮社）です。数学の難問解決にまつわるスリリングなストーリーが展開されます。次の年は、「物理学天才列伝(上下)」ウィリアム・H・クロッパー著・水谷淳訳（講談社）を推薦しました。人類の歴史を彩った天才たちの栄光と影が描かれています。もうお気づきでしょうが、いかにも“理工学部の先生が理工系の学生を意識したような選書”になっています。確かに、読者層として文系学部生が圧倒的に多い大学で、この選書が大好評で受け入れられたとは言い難いですね。にもかかわらず、その次の年にはSF小説を挙げてしまいました。それも「楽園の泉」アーサー・C・クラーク著・山高昭訳（早川書房）。

クラークならこれです。「星を継ぐもの」ジェームス・P・ホーガン著・池央耿訳（東京創元社）と双璧をなすほど面白い。“理工系”大学生になったら読んでおくべき基本図書でしょう。

作家によって作品を書く流儀も様々なようです。ある著名な作家は、「(推敲の結果)一度取り除いたコマを、(さらなる推敲の結果)再び同じ位置に置いたとき、小説が完成する」と語っているそうです。また、ある作家にとっての小説執筆で成功するための五原則は、「1.書くこと。2.それを最後まで書き終えること。3.編集からの要求があるとき以外、書き直しは避けること。4.書いたものを売りに出すこと。5.買い手がつくまで売りに出し続けること。」だそうです。プラズマ・核融合学会誌の読者の皆さんの多くは学術論文等の執筆を生業（少なくともその一部）としている方々だと思います。どうですか。ちょっと心に響くものがありますか。（村上朝之）

プラズマ・核融合学会役員

会 長：吉田 善章 副会長：白谷 正治(推薦委員長：学会賞) 森 雅博(推薦委員長：研究助成, 男女共同参画委員長)
常務理事：下妻 隆(総務委員長)
理 事：浅野 克彦(財務委員長) 浅野 史朗 上田 良夫(年会運営委員長)
内野喜一郎(支部・地区研究連絡会委員長) 大野 哲靖 小野 靖
岸本 泰明(研究部会連絡委員長) 久保 博孝(広報委員長) 坂本 瑞樹(企画委員長)
神野 雅文 竹入 康彦 中井 光男
波多野雄治(編集委員長) 長谷川 晃
監 事：利根川 昭, 中村 圭二

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：波多野雄治(富山大) 副委員長：坂本瑞樹(筑波大)
エディタ：金子俊郎(東北大), 江尻 晶(東大), 中村祐司(京大), 城崎知至(広島大), 小西哲之(京大), 酒井 道(滋賀県立大)
編集委員：青木 順(阪大), 石野雅彦(量研), 伊藤篤史(核融合研), 伊庭野健造(阪大), 小倉浩一(量研), 荻野明久(静岡大), 尾崎 哲(核融合研), 加藤 進(産総研), 神吉隆司(海上保安大), 古閑一憲(九大), 小菅佑輔(九大), 佐々木徹(長岡技科大), 佐藤雅彦(核融合研), 染谷洋二(量研), 高橋裕己(核融合研), 高橋光俊(助川電気工業), 竹内 希(産総研), 龍野智哉(電通大), 西塚直人(NICT), 藤井恵介(京大), 星野一生(慶大), 三重野哲(静岡大理), 三沢達也(佐賀大), 村上朝之(成蹊大), 柳 長門(核融合研), 吉橋幸子(名大), 渡邊裕樹(首都大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第94巻第6号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2018年(平成30年)6月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。